

松竹梅と蓬萊

「ほうらいさん蓬萊山」は古代中国において、東の海上にある仙人が住むといわれた仙境の一つで、神仙思想とともに古代の日本に伝わりました。日本では長寿を表す松や鶴、亀などと結びつき、松の生える島や山に、鶴亀を組み合わせて、吉祥図様として描かれました。

松と竹は冬でも緑を保ち、梅は寒中に花開くところから、中国では松・竹・梅を組み合わせた「さいかん歳寒三友」の図がさんゆう清廉・せいれん潔白・せつど節度ある高貴な精神の象徴として文人に好まれました。この組み合わせが日本にもたらされると、江戸時代には「松竹梅」として長寿や幸せを表す吉祥文様として定着しました。